

平成18年度 あさお生きごみ隊
活動報告書

事業活動の名称	生ごみリサイクル活動（家庭の生ごみを農家との連携によって堆肥化する取り組み）
---------	--

1 事業計画申請者

組織名：あさお生きごみ隊	
代表者氏名：山崎 優	〒215-0006 川崎市麻生区金程 1-10-6 電話：966-4638 FAX：966-4638

2 事業活動内容について

(1) 目的

- ・家庭の生ごみを農家との連携によって堆肥化し以下をめざす。
生ごみの回収と資源化、ごみ減量
生ごみリサイクルによる地域資源循環
生ごみ提供者と受け入れ農業との連携により、人と人とのつながりを深める
農業への感心と農業を守る気持を育て、豊かな自然を守る

(2) 活動概要

私たちあさお生きごみ隊は平成17年10月8日に設立し、18年3月までの半年間の活動により市民による生ごみリサイクルを順調に立ち上げ、生ごみ回収から生ごみ堆肥化を安定して実施した。18年4月からの1年間の活動概要は以下のとおりである。

- ・2月に古沢の畑に第1回目の生ごみ堆肥80kgをすき込み、4月に蒔いた、ほうれん草、小松菜は5月に収穫。エコフェスタ出展。6月にはジャガイモ収穫体験会開催し、協力会員、会員との交流を深めた。8月には収穫した夏野菜、きゅうり、なす、トマトなどを数回に分けて協力会員に配布し、会員から喜ばれた。10月に開催した収穫祭には協力会員、会員と農家や麻生区民も参加し28名が、サツマイモ30kgを収穫したり、焼き芋を「したり持ち寄った自家製料理を作って秋を満喫し、お互いの交流を深めた。
- ・平成18年10月、1年間の生ごみ回収実績は3トン、5,1キロリットルに達した。12月東京の農大へ依頼したあさお生きごみ隊生ごみ堆肥分析結果は、窒素、リン酸、カリが2:2:2の成分比で生ごみ堆肥としては良好であると報告を受けた。同12月、建屋増築を開始した。(19年5月完成予定)
- ・19年2月、「あさお生きごみ隊生ごみ堆肥」と命名して県に「特殊肥料」として届け出て受理された。同2月川崎市主催の10万本植樹祭に同堆肥50kgを提供することができた。
- ・3月「第5回市民自治創造・かわさきフォーラム」、麻生区の「2007 里山フォーラム in 麻生」にてパネル展示を行った。川崎市環境局発行の「生ごみリサイクルプラン」にあさお生きごみ隊の活動が写真入で紹介された。
- ・あさお生きごみ隊通信は5号～9号、臨時号を発行した。

(3)活動の課題

- ・生ごみ回収車のレンタル料は、予算上のウエイトが高く今後の課題として残っている。
- ・今後の活動テーマとして生ごみリサイクル活動の普及啓発として協力会員への生ごみ堆肥還元、小学校などでの総合学習における活用提案が考えられる。また、野菜作りと生ごみ堆肥の利用方法研究も長期的テーマである。

3. 実施スケジュール 名称：生ごみリサイクル活動（家庭の生ごみを農家との連携によって堆肥化する取り組み）

時 期	活 動 内 容
18年 4 月	生ごみ回収作業（2週間に1回、土曜）と堆肥化 エコフェスタ出展 野菜種まき
5 月	小松菜、ほうれん草第1回目収穫 あさお生きごみ隊通信5号発行
6 月	収穫体験会（じゃがいも） 夏野菜種まき
7 月	あさお生きごみ隊通信6号発行
8 月	夏野菜を協力会員に配布
9 月	
10 月	収穫祭（サツマイモ収穫） あさお生きごみ隊通信7号発行
11 月	
12 月	あさお生きごみ隊通信8号 あさお生きごみ隊生ごみ堆肥成分分析 建屋増築開始
19年 1 月	
2 月	「あさお生きごみ隊生ごみ堆肥」届け 川崎市植樹祭に生ごみ堆肥提供 あさお生きごみ隊臨時号発行
3 月	「第5回市民自治創造・かわさきフゾーラム」、麻生区の里山フォー ラムにパネル展示 川崎市環境局発行の「生ごみリサイクルプラン」 にあさお生きごみ隊の活動が紹介される あさお生きごみ隊通信9 号発行

4. 事業収支

平成18年4月1日～平成19年3月31日

収 入		支 出	
会員会費	20,000	謝礼金等	12,550
前年度繰越金	28,139	交通費	7,170
かわさき市民公益活動助成金	100,000	ぼかし代など	62,620
ぐらすかわさきサポート基金	100,000	通信印刷代	8,066
全労済環境活動助成金	169,000	コピー代	1,520
イベント出展準備金	8,000	収穫体験用材料費	16,533
謝金	10,000	堆肥小屋増築材料費	97,626
		回収車レンタル代	183,804
		次年度繰越金	45,250
計	435,139	計	435,139